

保健・医療・福祉の現状

平成30年5月

秋田県健康福祉部

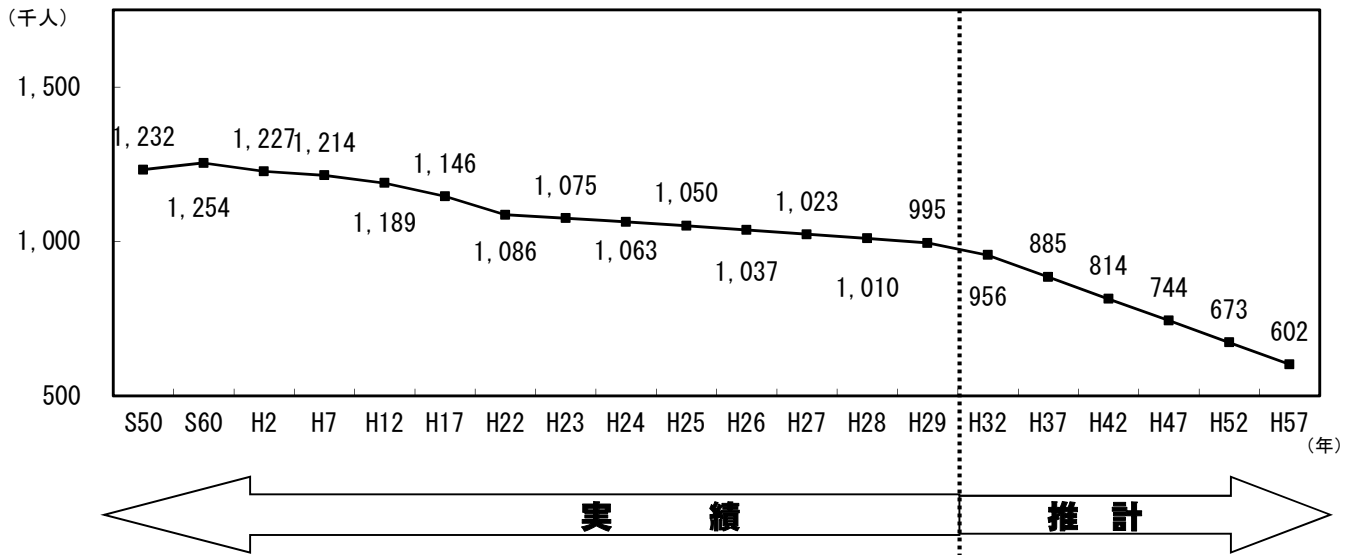
目 次

1. 少子化	1
2. 高齡者	3
3. 障害者	5
4. 健康	7
5. 医療	11

1 少子化

県人口

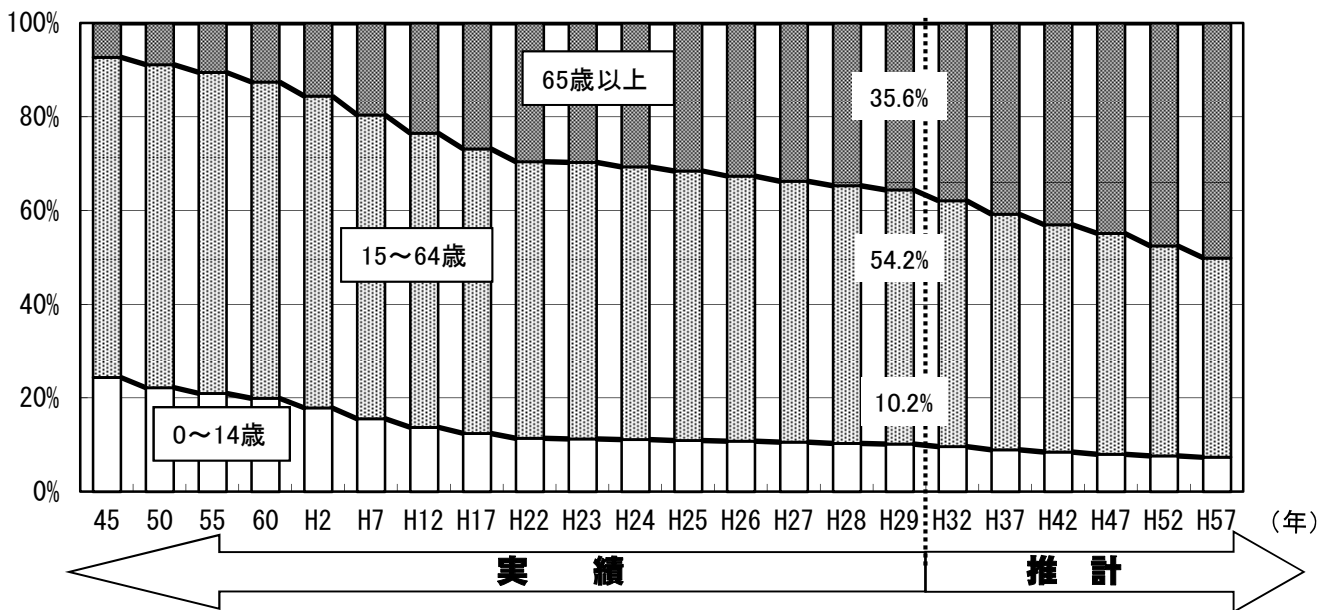
人口は平成57（2045）年には約60万人まで減少する見込み



資料) 国勢調査、秋田県年齢別人口流動調査、H32以降は社会保障・人口問題研究所

年齢3区分別人口

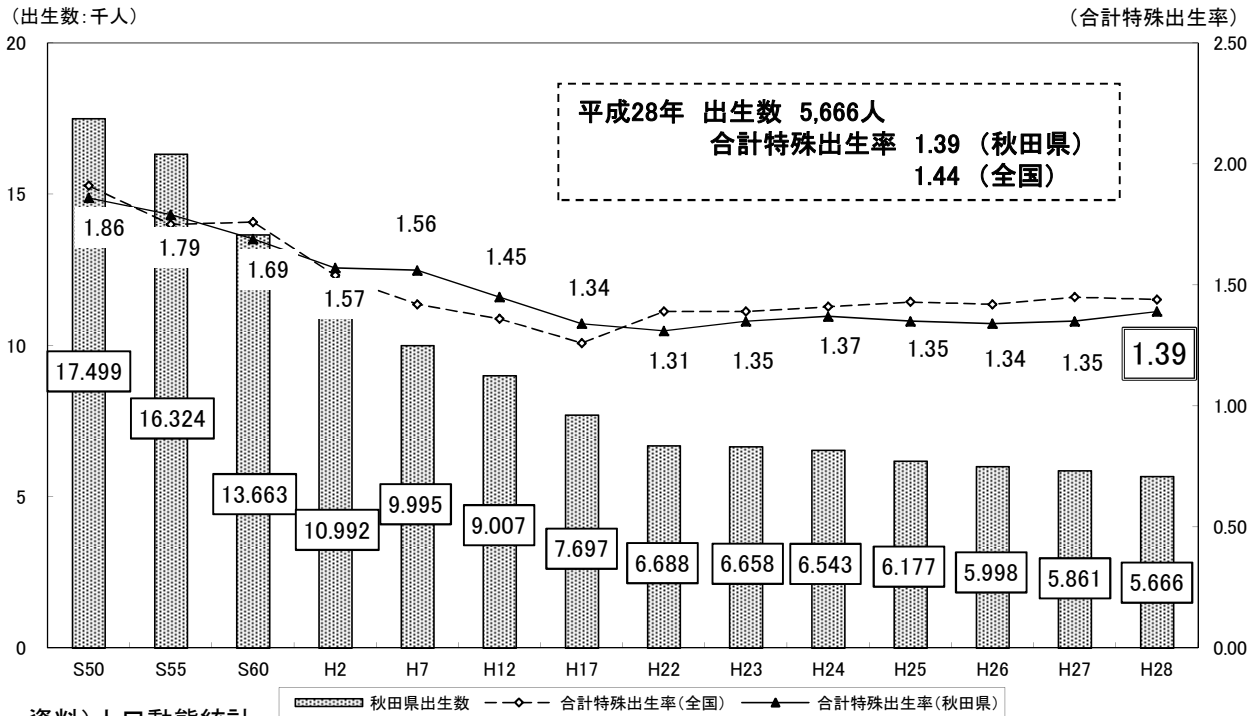
生産年齢人口及び年少人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加している



資料) 国勢調査、秋田県年齢別人口流動調査、H32以降は社会保障・人口問題研究所

出生数・合計特殊出生率

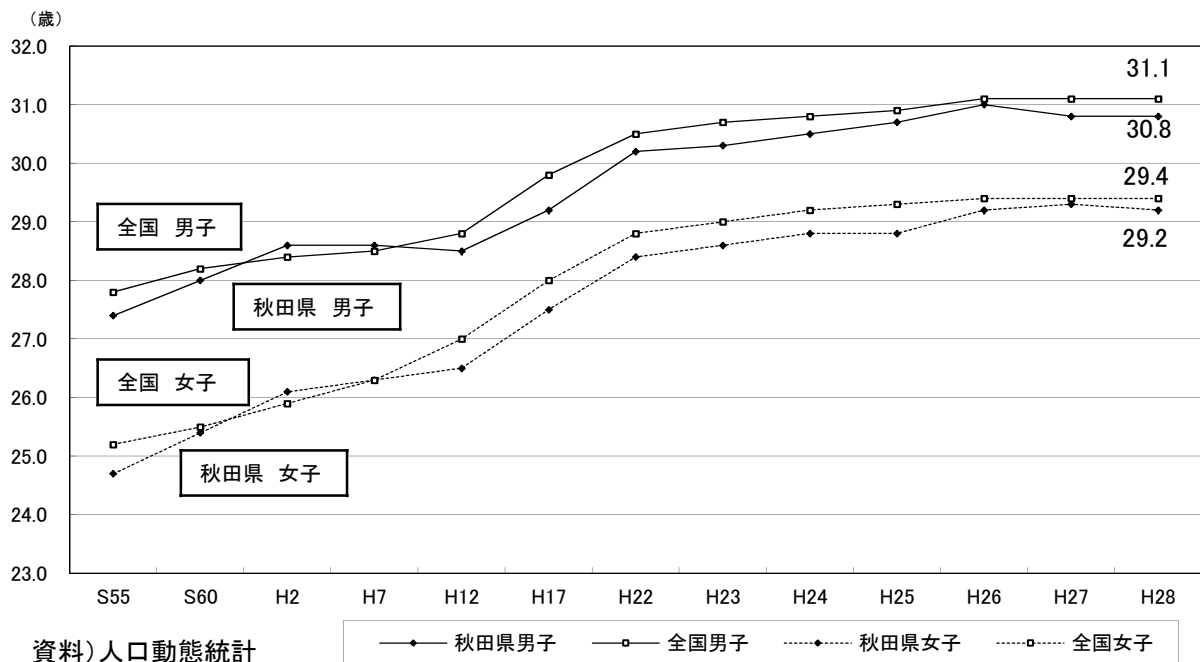
出生数は平成7年に1万人を割り、平成26年には5千人台となる
合計特殊出生率は、全国平均を下回っている



資料)人口動態統計

平均初婚年齢

結婚年齢は近年は横ばいで推移している

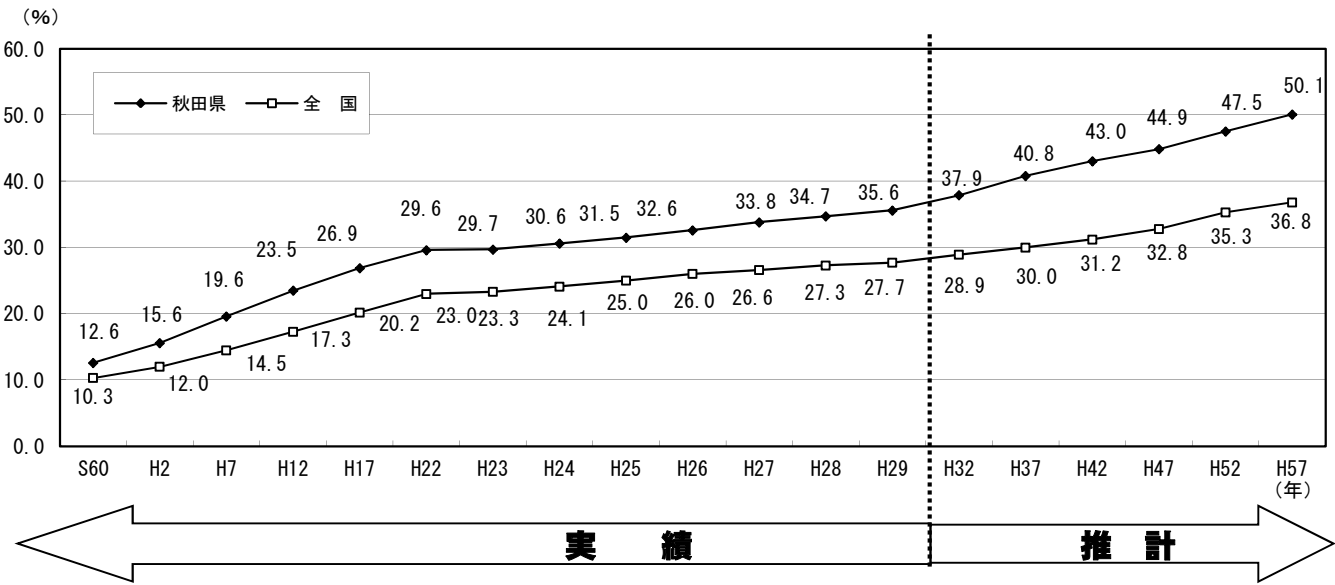


資料)人口動態統計

2 高齢者

高齢化率

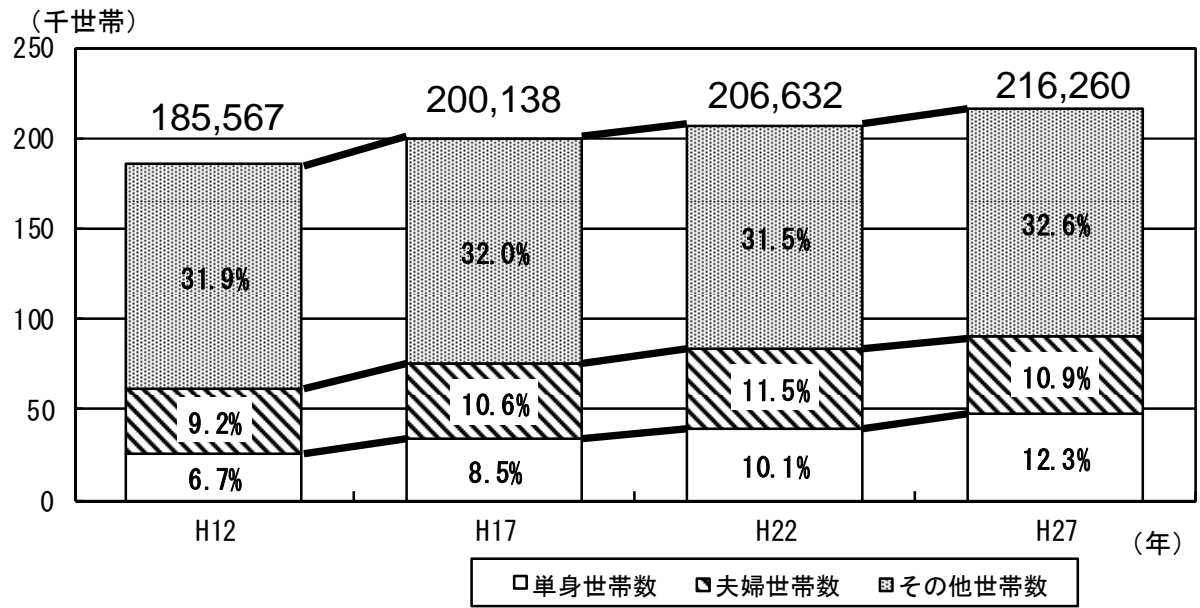
高齢化率は上昇を続け、2045（平成57）年には50%を超える見込み



資料) 国勢調査、総務省人口推計、秋田県年齢別人口流動調査、H32以降は国立社会保障・人口問題研究所

高齢者のいる世帯数

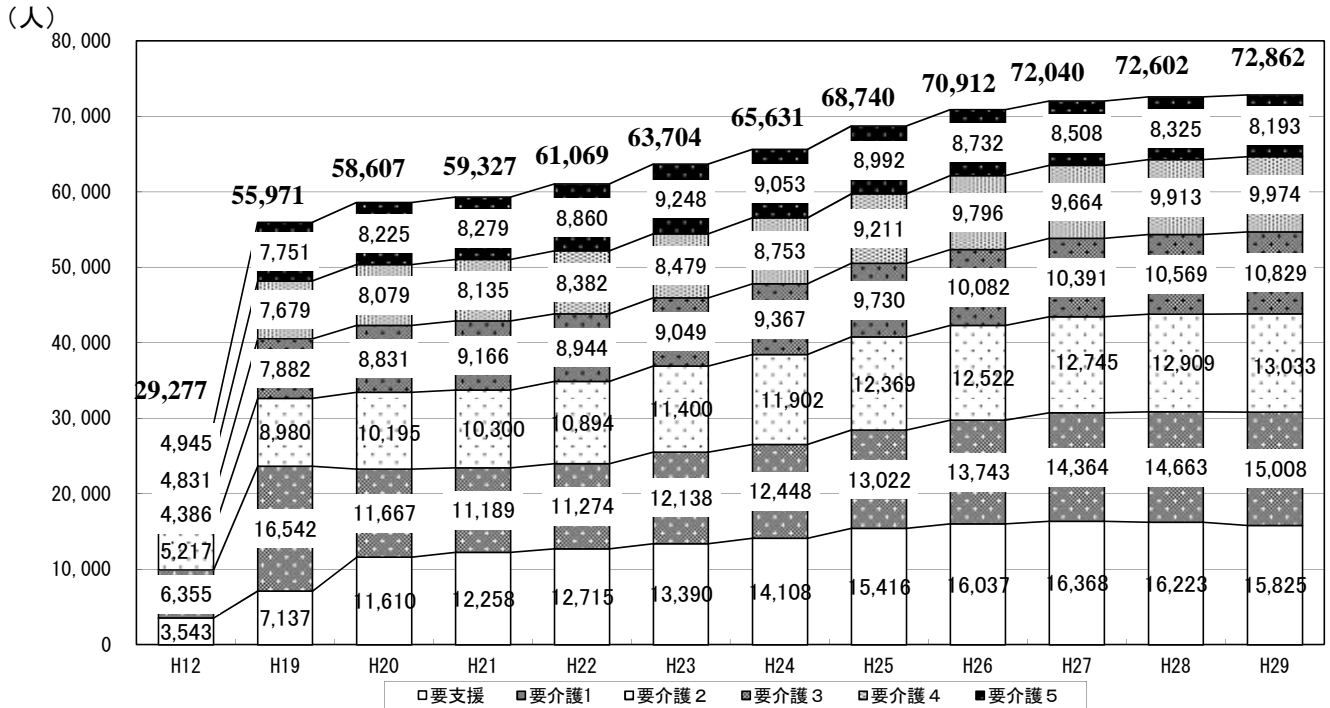
高齢者のひとり暮らし世帯の割合が年々増加している



注) 「単身世帯」は高齢者のひとり暮らし世帯、「夫婦世帯」は高齢者のみの世帯。割合は総世帯数に占める割合
資料) 国勢調査

要支援・要介護認定者数

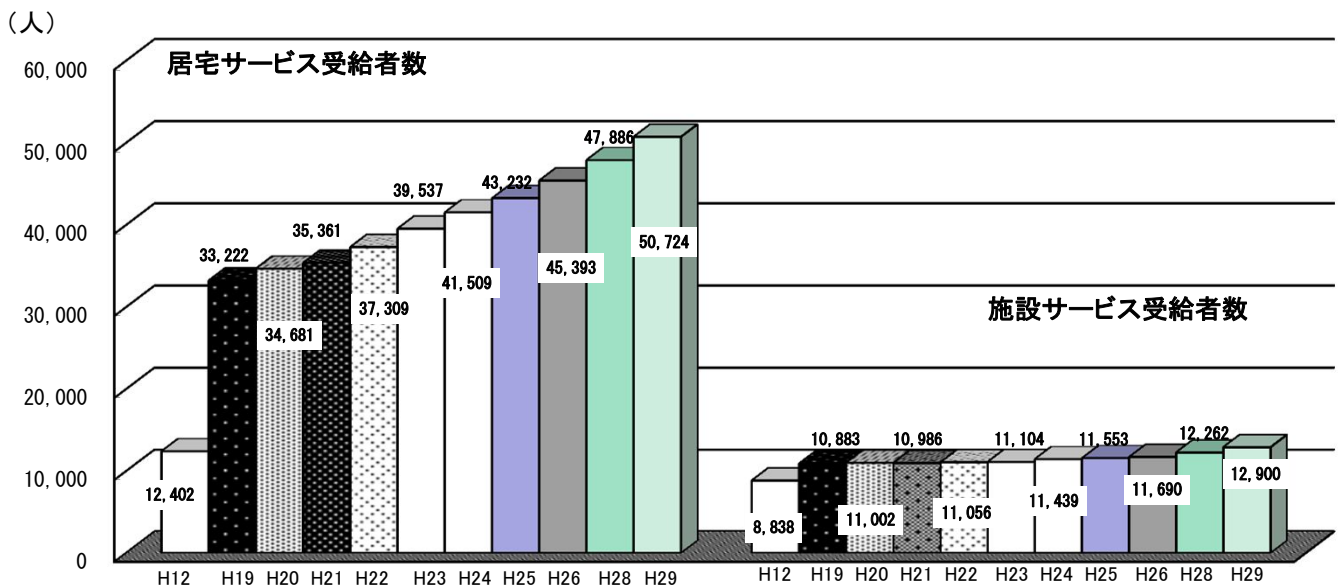
要支援・要介護認定者は、制度開始時に比べ約2.5倍(約43,600人)増加している



注) 第1号被保険者と第2号被保険者の合計
資料) 介護保険事業状況報告(各年4月現在)

サービス別利用者数

居宅サービス受給者は、制度開始時に比べ約4.1倍(約38,300人)増加している

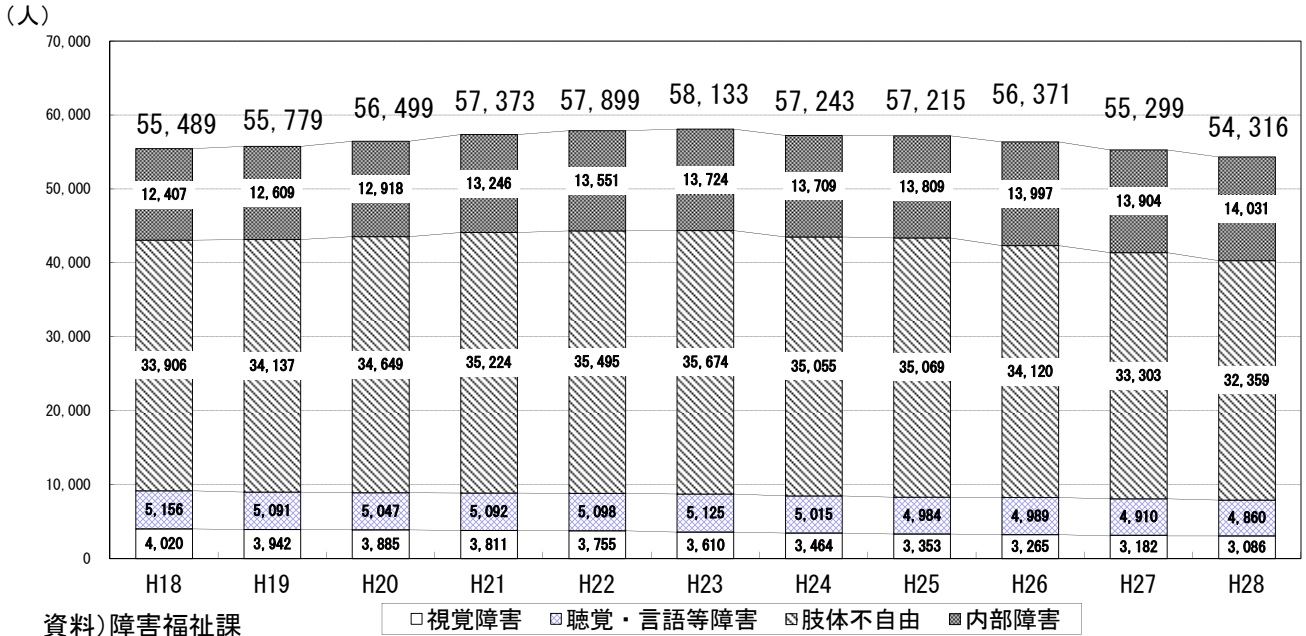


注) 居宅サービス受給者: 居宅介護(介護予防)サービス受給者数と地域密着型(介護予防)サービス受給者数の合計
資料) 介護保険事業状況報告(各年4月現在)

3 障害者

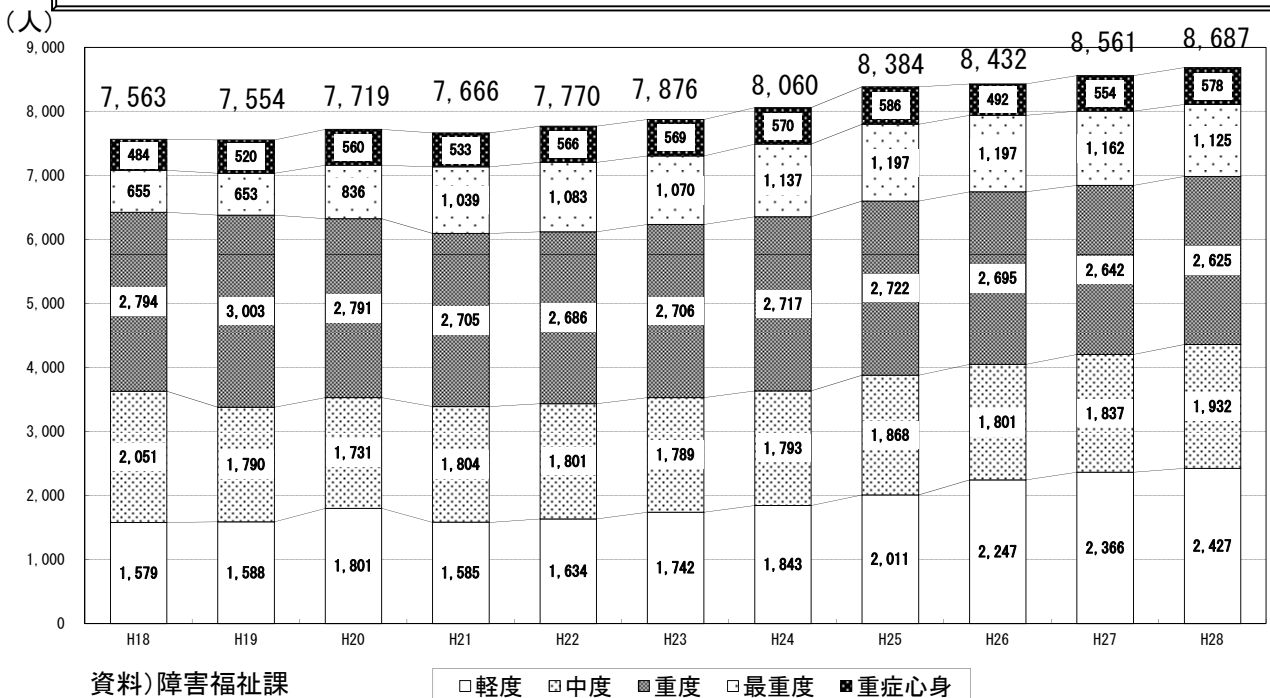
身体障害児者数（障害別）

肢体不自由が最も多く、約6割を占めている



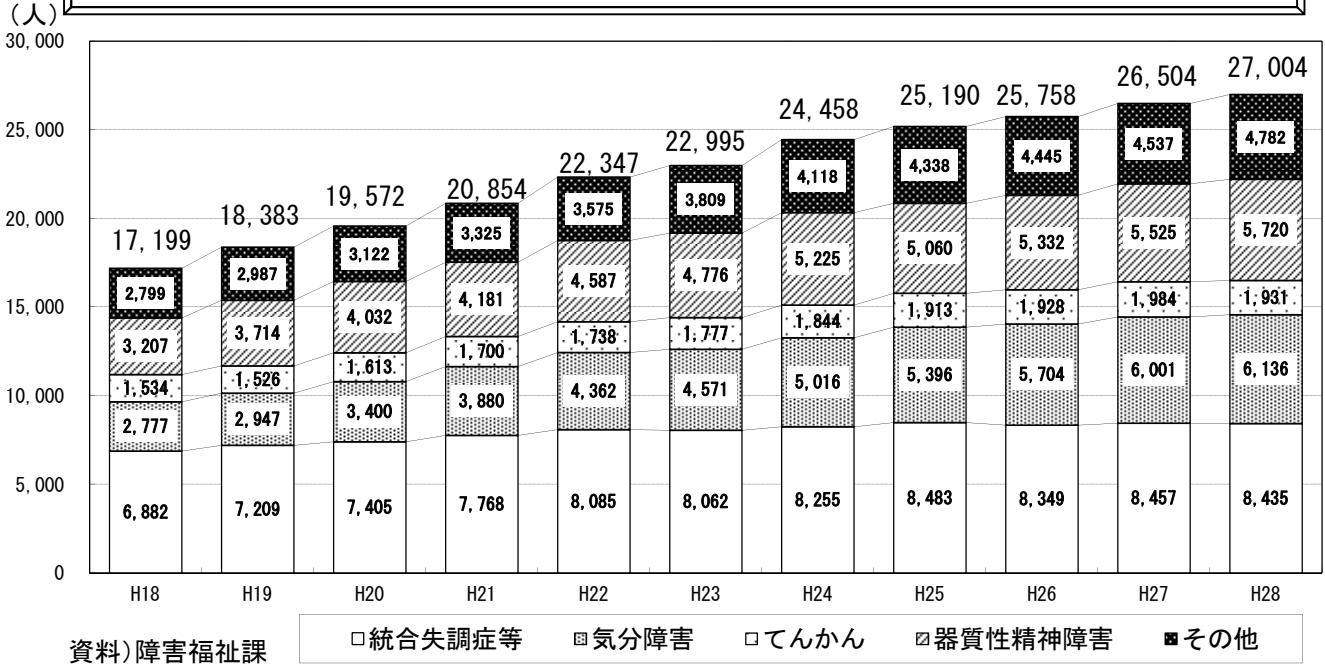
知的障害児者数

全体の約半数が重度以上の障害を有している



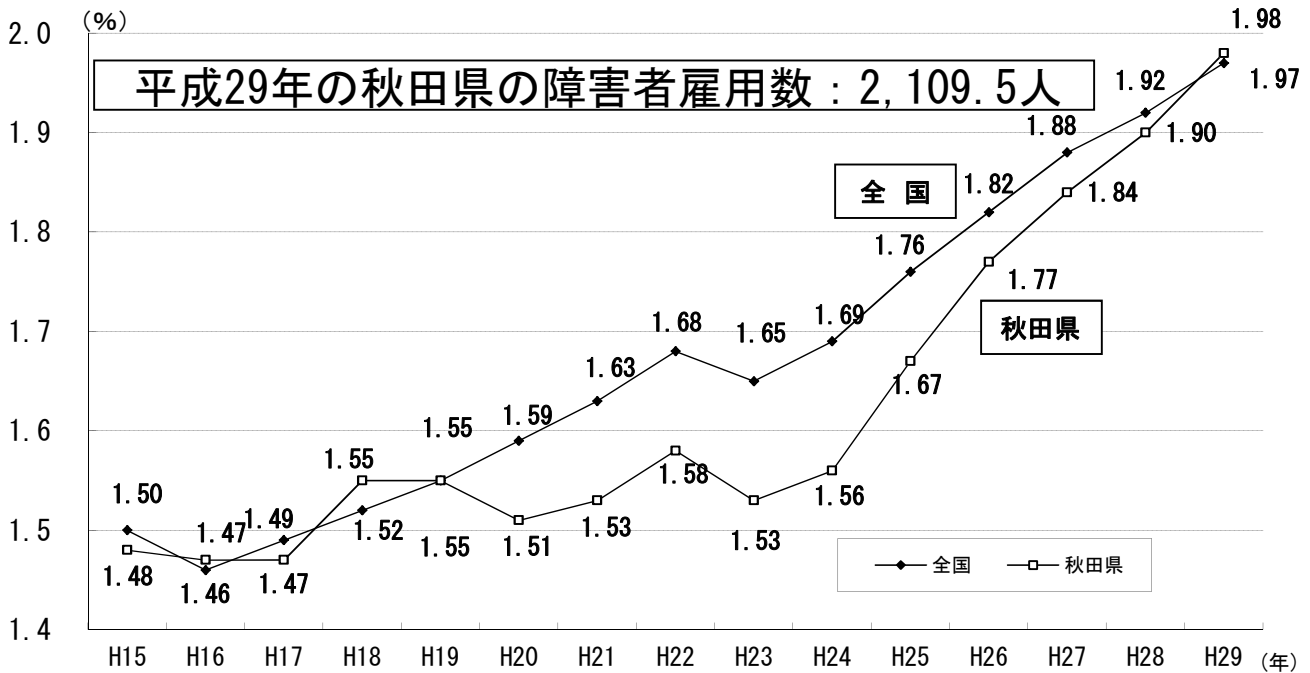
精神障害者数

精神障害者は、気分障害（うつ病等）や器質性精神障害（認知症等）などを中心に増加している



障害者の雇用率

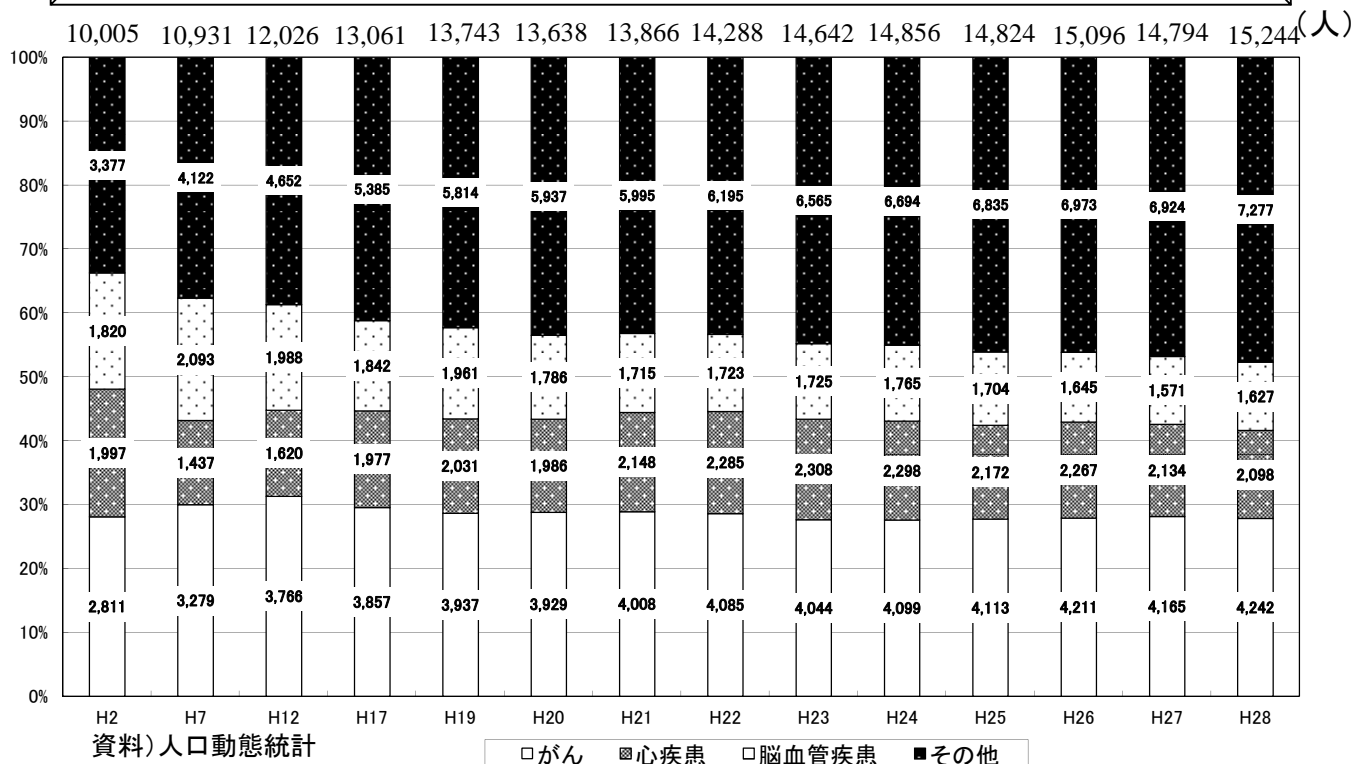
全国と同水準まで増加したが、法定雇用率(2.0)を下回っている



4 健康

死因別の死亡数

三大死因による死亡数が全体の半数を占めているが、近年は肺炎などによる死亡数が増加している



平成28年三大死因の状況

がん・脳血管疾患の死亡率が全国第1位となっている

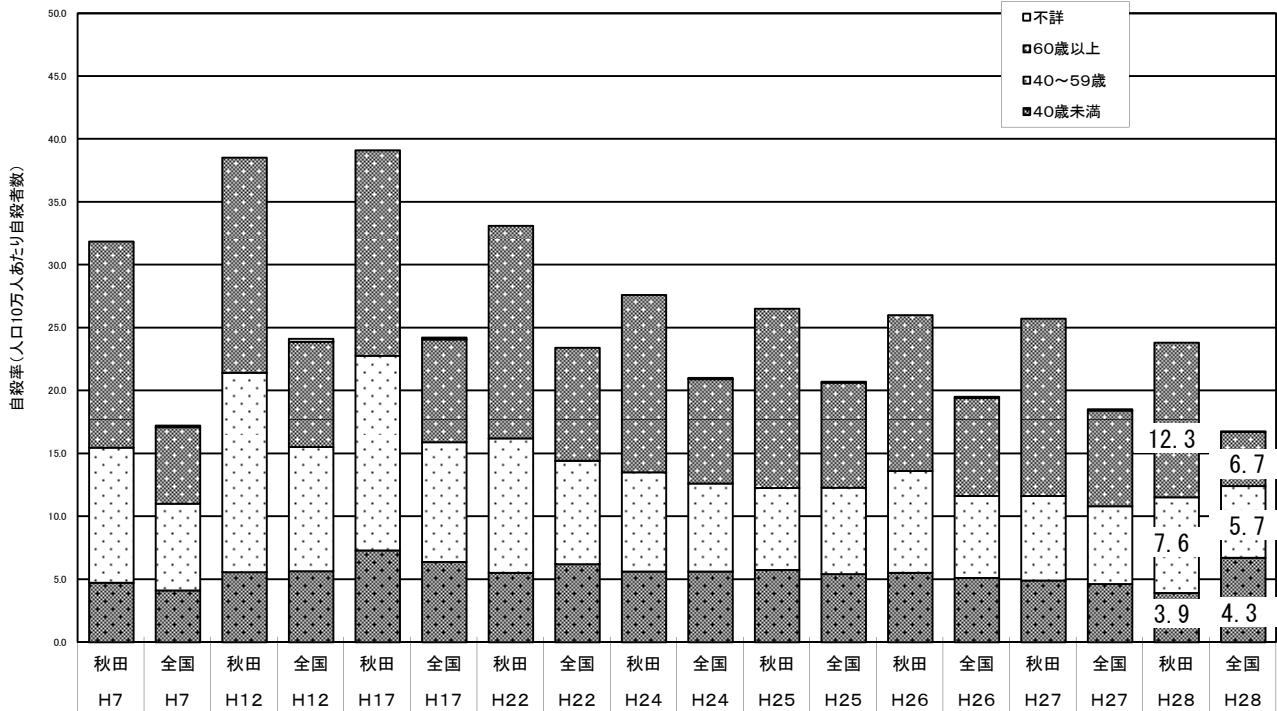
(率・人口10万人対)

区分	が ん	脳血管疾患	心疾患
秋田県の状況 (順位)	421.3 (1位)	161.6 (1位)	208.3 (8位)
全国平均	298.3	87.4	158.4
全国の状況 (高率県)	①秋 田 (421.3) ②青 森 (390.2) ③島 根 (376.0)	①秋 田 (161.6) ②岩 手 (151.1) ③山 形 (138.8)	①高 知 (244.7) ②岩 手 (234.1) ③愛 媛 (233.0)

資料) 人口動態統計

自殺者数

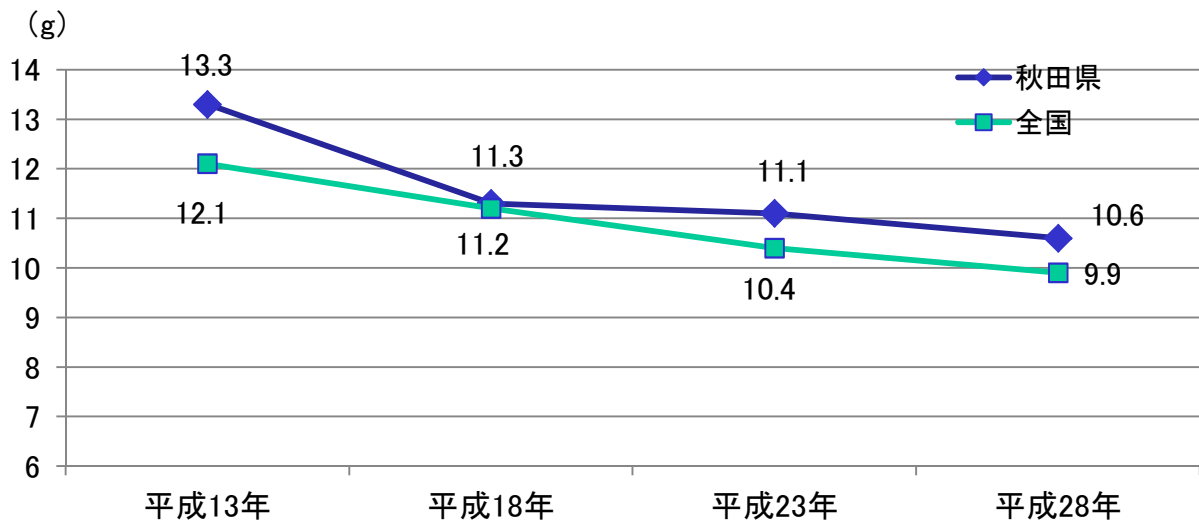
自殺者に占める高齢者の割合が多い



資料)人口動態統計

食塩摂取量の状況

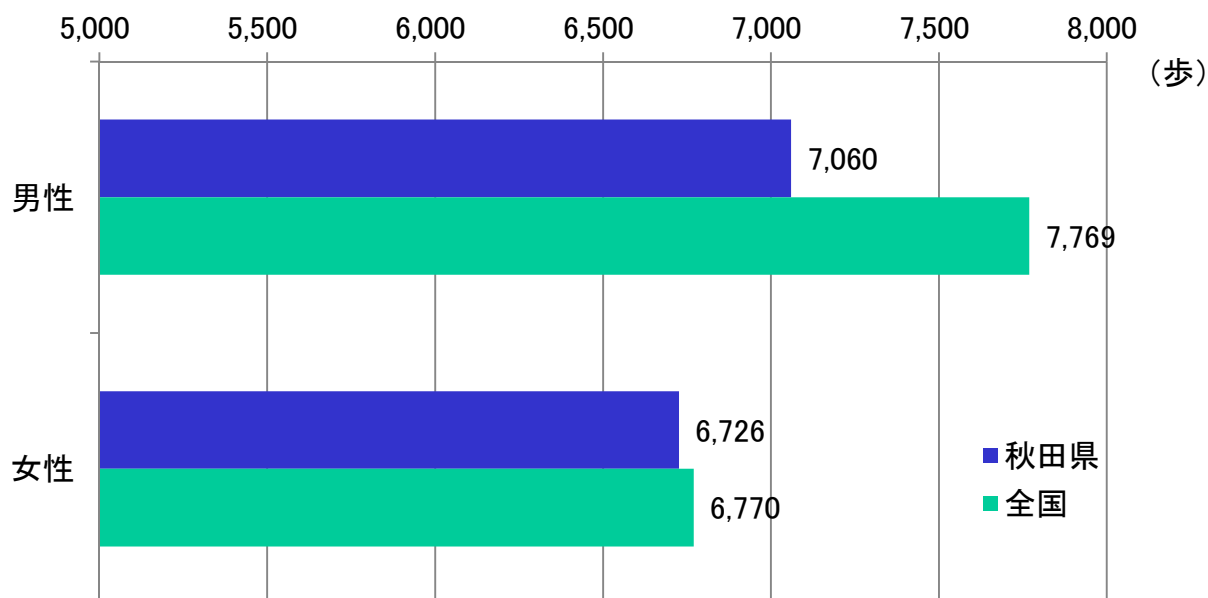
減少傾向にあるが、全国平均を上回っている



資料)国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査

1日あたり歩数

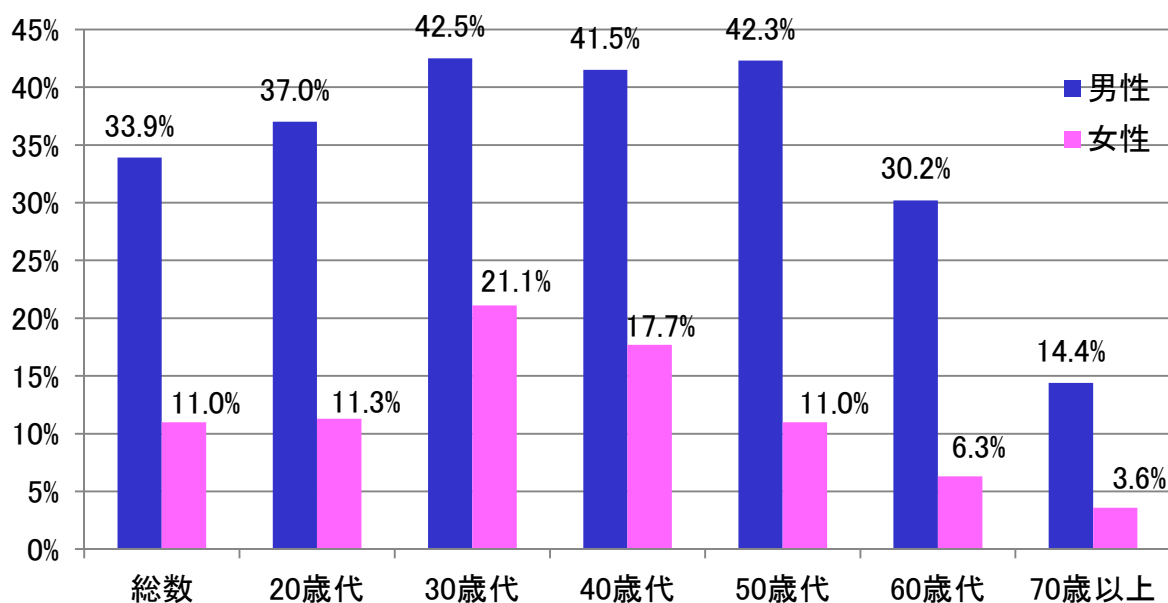
男性の歩数が全国平均を大きく下回っている



資料) 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査 ※数値は20歳～64歳の1日あたり歩数の平均値

喫煙率

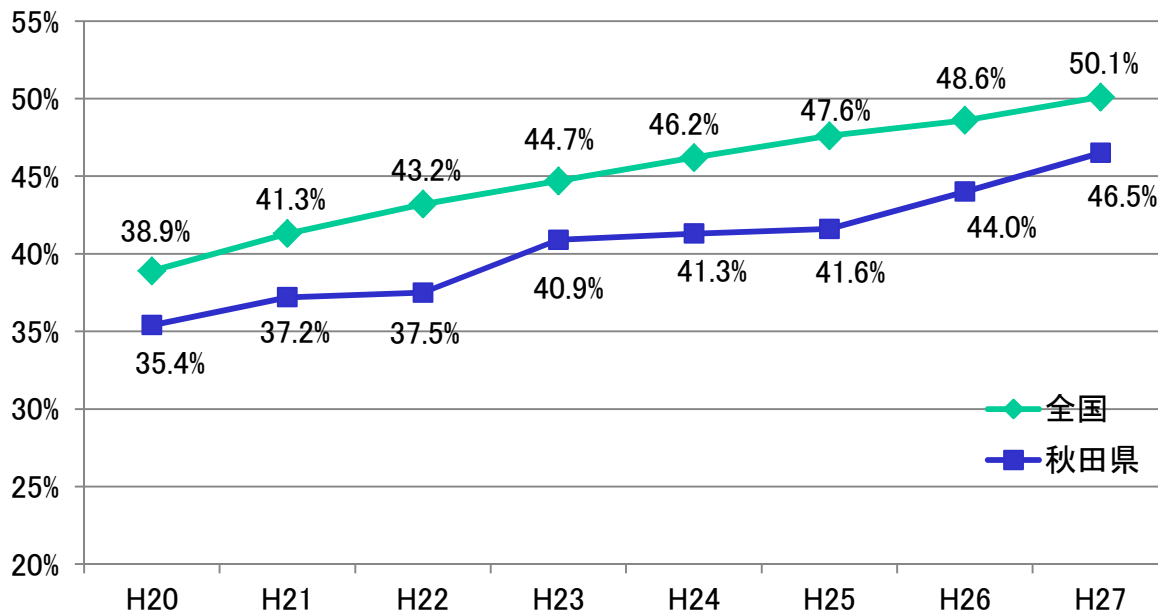
特に30歳代～50歳代男性の喫煙率が高い



資料) 健康づくりに関する調査(秋田県)

特定健診受診率

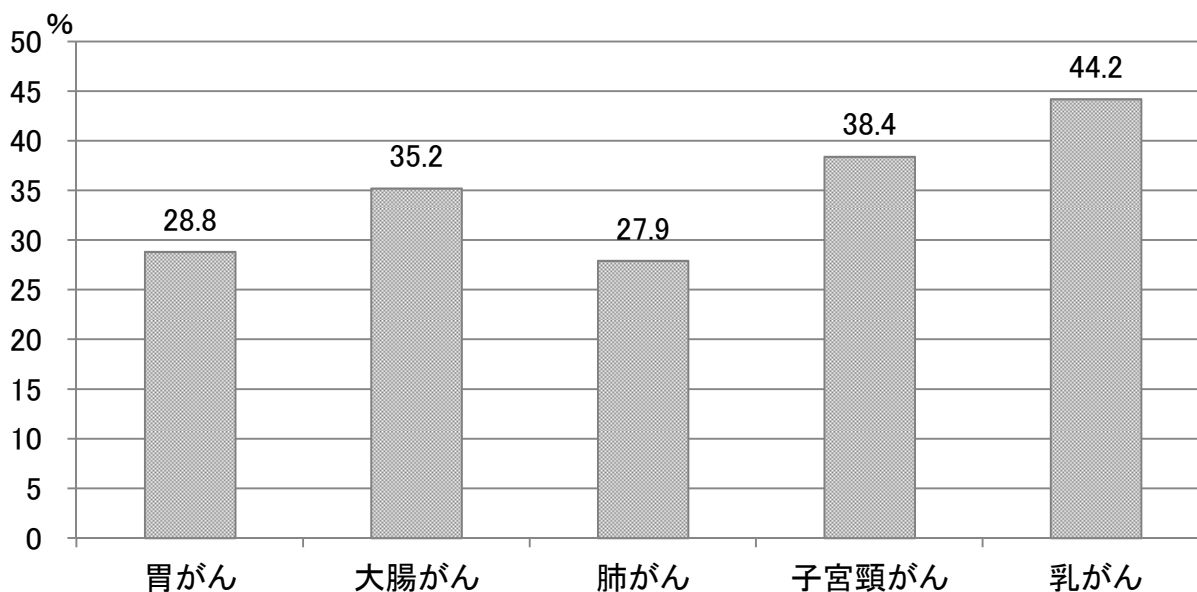
上昇傾向にあるものの、全国平均を下回っている



資料)レセプト情報・特定健康診査等データベース

がん検診受診率

受診率は目標とする50%に達していない



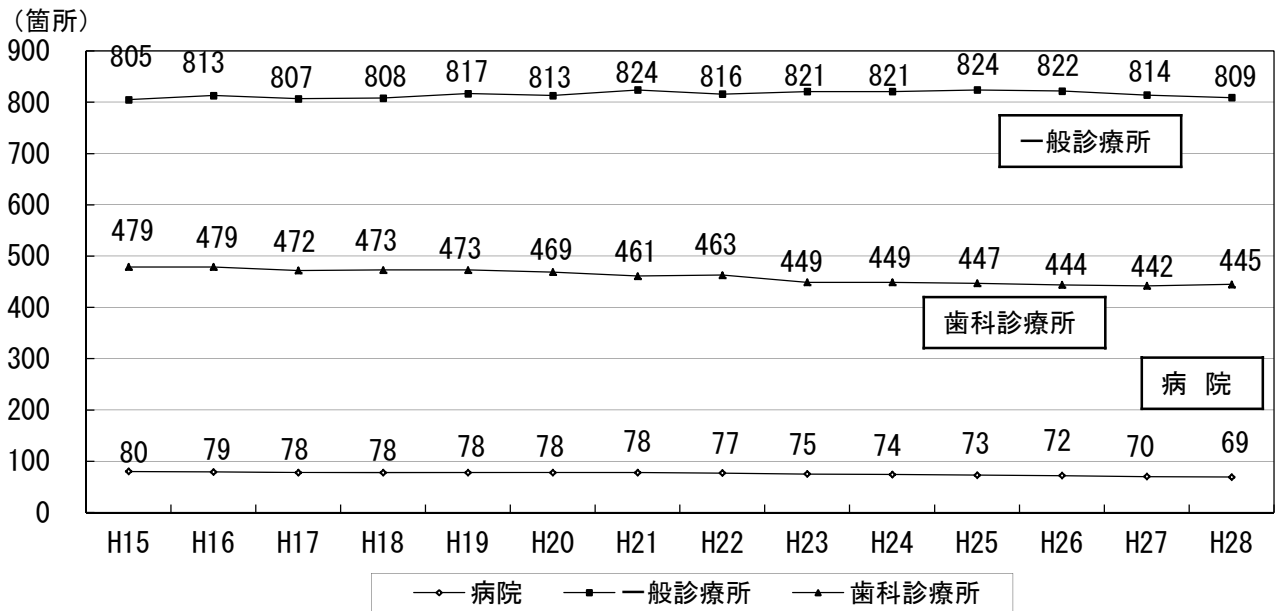
資料)平成28年度地域保健・健康増進事業報告、健康づくり推進課調べ

※対象者は、「がん対策推進基本計画」及び「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、40～69歳（胃がん検診は50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）としている。

5 医 療

医療施設数

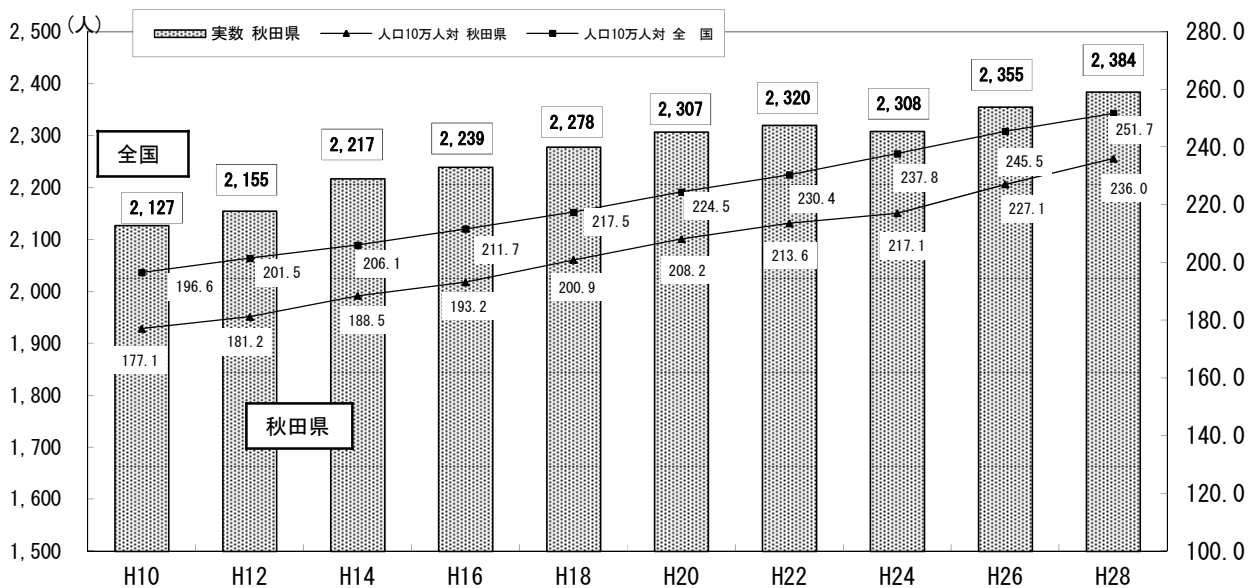
診療所数は横ばい、病院、歯科診療所数は緩やかな減少傾向にある



資料) 医療施設調査(各年10月1日現在)

医師数

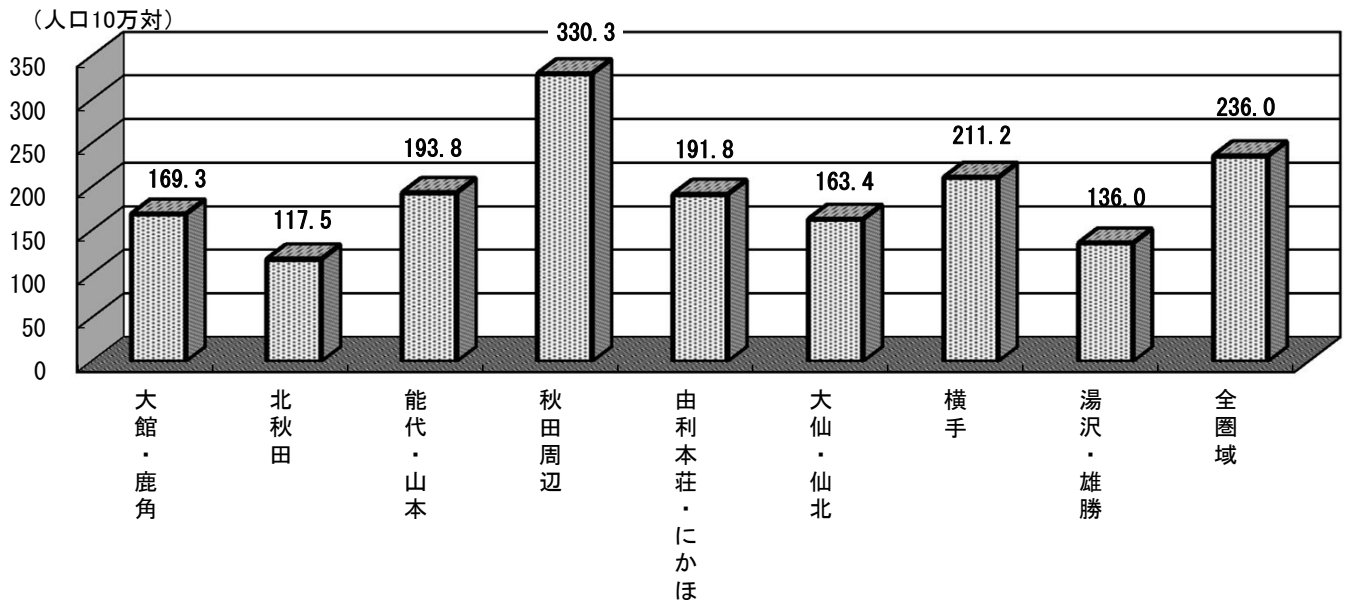
医師数は増加傾向にあるが全国平均を下回っている



資料) 医師・歯科医師・薬剤師調査(隔年12月末現在)

二次医療圏別医師数

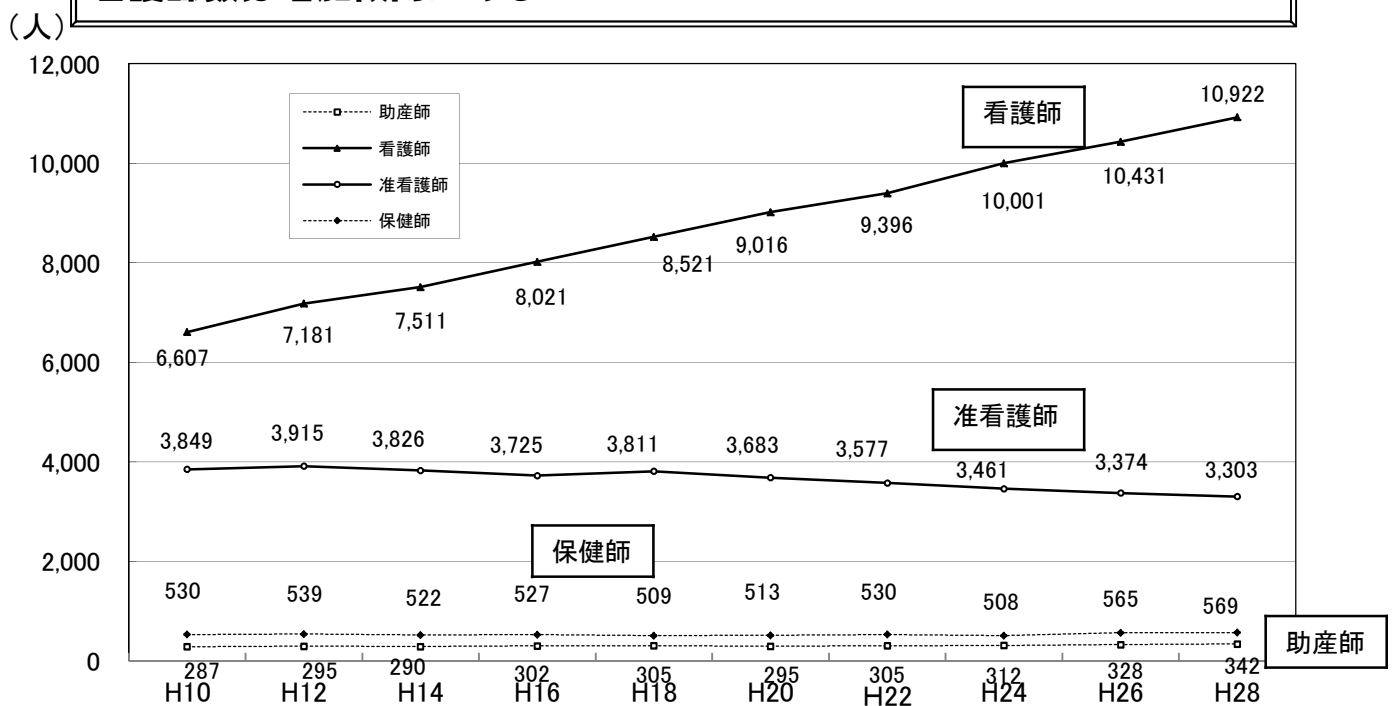
秋田周辺医療圏が最も多く、地域偏在が顕著になっている



資料) 医師・歯科医師・薬剤師調査(平成28年)

医療従事者数

看護師数は増加傾向にある



資料) 衛生行政報告例